



日本の緑化事情 / 断熱効果

建物や緑化を進む中、科学者達が冷却化を試み解き放った地球全体を永久凍土のように凍結してしまい全ての生命が住むことが出来ない環境になつてしまっています。これを予測していた富豪が永久機関に

地球温暖化が進む中、科学者達が冷却化を試み解き放った地球全体を永久凍土のように凍結してしまい全ての生命が住むことが出来ない環境になつてしまっています。これを予測していた富豪が永久機関に

建物や緑化を進む中、科学者達が冷却化を試み解き放った地球全体を永久凍土のように凍結してしまい全ての生命が住むことが出来ない環境になつてしまっています。これを予測していた富豪が永久機関に

建物や緑化を進む中、科学者達が冷却化を試み解き放った地球全体を永久凍土のように凍結してしまい全ての生命が住むことが出来ない環境になつてしまっています。これを予測していた富豪が永久機関に

建物や緑化を進む中、科学者達が冷却化を試み解き放った地球全体を永久凍土のように凍結してしまい全ての生命が住むことが出来ない環境になつてしまっています。これを予測していた富豪が永久機関に

建物や緑化を進む中、科学者達が冷却化を試み解き放った地球全体を永久凍土のように凍結してしまい全ての生命が住むことが出来ない環境になつてしまっています。これを予測していた富豪が永久機関に

大日製品現場レポート

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

いつも大日新聞を御愛読いただき、ありがとうございます。URで「URである」というTVコマーシャルを御存じですか？ 大日化成に、そのUR団地の改修工事で採用されている工法(商品名)がありますので、以下に紹介いたします。

大きく分けて、3つの用途、屋上(URX・URB工法)・バルコニー(URA-1・URA-2工法)・トレンチビット(BRT工法)の改修工事に採用されています。

URR-1・URR-2工法は、約10年前から、九州エリアを中心に採用されています。今まで採用されてきたウレタン防水と比較して、施工中の臭気の問題が解決できる点から、10年前より少しずつ採用件数を増やしています。

ウレタン防水より、ポリマーセメント系塗膜防水・ビツグサンで施工したいという施工店も増えています。作業性・乾燥の速さ・臭気の無さ等が主な理由です。また、平成29年度版の保全工事共通仕様書より、既存防水層がウレタン防水の場合、ポリマーセメント系塗膜防水で改修施工可能との変更が有り、既存ウレタン防水の上にも、施工可能

また、数年前より、屋上の防水層保護コンクリートを施した防水の全面修繕用途として、(C)工法(脱気絶縁複合防水)が採用されています。

全面修繕1回目の工法として、URX工法、また、全面修繕2回目、部分修繕の工法として、URR工法が採用されています。

URX工法は、いわゆるポリマーセメント系塗膜防水の通気緩衝工法です。ウレタン防水ではなじみが有ると思います。が、シーートの接着剤からトップコートまですべて水系の材料のため、作業中、住民に配慮した工法です。少しずつ施工実績を増やしています。

採用に際し、UR都市機構「保全工事共通仕様書 機材及び工法の品質判定基準仕様登録集」に基づき、ASS8-T501メンブレン防水層の性能評価試験方法に従って水深80cmの水密試験を実施し、漏水無しの結果でした。詳細は弊社のホームページを御確認ください。

<https://www.dainichikasei.co.jp/ur/>

DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

- 本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702
- 東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝楽太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

次号も
お楽しみに

URL : <https://dainichikasei.cp.jp>

Vol.59

映画で学ぶ 環境問題



スノーピアサー
原題：SNOW PIERCER

監督：ボン・ジュノ
制作：パク・チャヌク
出演者：クリス・エヴァンス、ソン・ガンホ、コ・アソン

制作国：韓国・フランス・チェコ・米国
上映：125分
公開：2014年(日本)

前回、地球温暖化が進み地表の水が全て溶けたために陸地が全て水没した世界が主題だった「ウォーターワールド」を取り上げましたが、今回はその真逆。地球全てがとつともない温度に下がってしまつた氷河期の世界でくり広げられる映画「スノーピアサー」です。

よつて走り続ける1001両編成からなる列車「スノーピアサー」を開発。富裕層客をのせて地球を1年掛けて一周することを延々と続ける、ノアの方舟の列車版です。

列車の中には乗客が生きていく上において全ての事がまかなえるようになっており、動物の飼育や植物の生育がおこなわれ学校や刑務所・軍隊まで備わり、1001両の列車が地球そのものになっていきます。

乗客は富裕層だけのはずでしたが出発間際に暴動が起きチケットを持たない労働者階級の人々も多数乗り込み列車は動き出します。

地球が温暖化や冷却化(氷河期)されるのも、全て太陽の周回軌道が起因するものとの論文もあるのですが、温暖化は現代の環境が加速させているという説が温暖化対策を強めています。もし逆に地球が冷却化にむかうとどうなるのでしょうか。

地球冷却化対策というものが出来るのだと思われませんが、実際に氷河期の気温はどのくらいだったのでしょうか。現在の世界平均気温は14℃ですが、氷河期はそれよ

本作では温暖化対策が失敗し人工的に氷河期を作り出してしまったものですが、そもそも氷河期とはどういったものでしょうか。

太陽を周回している地球軌道が少しずれて太陽からの距離が離れ太陽光量が減少。その為気温が急激に低下して地表が凍てつくというもので、およそ200万年前、ヨーロッパを氷河期が襲い巨大な氷河で覆い尽くされてしまいました。そして約1万年前に氷河期が終わりを迎え溶け出したことから川が氾濫状態となり地形に大きな影響を残しました。アルプス渓谷やノルウェーのフィヨルドが形成されたのもこれが原因と言われています。

マンモスは氷河期で絶滅したと言われてますが、人類も滅亡したのでしょうか？ネアンデルタール人はおよそ3万年前に絶滅したとのことですが、クロマニヨン人は上手く環境に対応して生き延びていったとされています。

温暖化になつても冷却化になつても多大な影響が想定されます。氷河期は今の所現実的では無さそうですが、温暖化は今日明日ではなく何世代か先には来るかも知れませんのでできる限り後生に良い環境を引き継げるよう、正しい温暖化対策が講じられればと思います。

本作はNetflixでドラマ化もされておりシーズン4まで制作されています。映画は氷河期になつてから20年後が描かれています。映画では7年後の話ですが、ドラマとは違うストーリーなので別の楽しみ方があるかもしれません。

氷河期と言えば地球全体が氷で覆われるというイメージが少なからず有り、意外と温かい?と思ってしまうのですが、実際には大きく違います。

緯度が高い欧州北部、ロシアなどでは完全に氷に閉ざされた状態で南極レベルの環境になりま。灼熱の赤道辺りでも同じく気温が低くなるわけです。地球全体のバランスが取れませんが、人類をはじめ農作物や海洋生物への影響は多大と考えられます。